

2023年7月18日

各位

会社名 株式会社ライトワークス
代表者名 代表取締役 江口 夏郎
(コード番号：4267 東証グロース)
問合せ先 取締役管理本部長 寺田 真琴
(TEL 03-5275-7031)

**経営上の目標の達成状況を判断するための客観的な指標等の変更、
配当政策の基本方針の変更および期末配当予想の修正（増配）、
ならびに剰余金の配当（中間配当）に関するお知らせ**

当社は、本日開催の取締役会において、経営上の目標の達成状況を判断するための客観的な指標等の変更、配当政策の基本方針の変更および期末配当予想の修正（増配）、ならびに剰余金の配当（中間配当）について、下記のとおり決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 決議の理由

当社グループは、『ミライの「はたらく」を、明るくする』という経営方針のもと、LMS（Learning Management System）市場においてクラウドで提供される人材開発のプラットフォーム「CAREERSHIP」を用いたHCMプラットフォーム提供サービスと、学習塾経由のオンライン英会話レッスン「OLECO」およびBtoCのオンライン英会話レッスン「クラウティ」を用いたHCMクラウドを活用したオンライン英会話サービスの2つのサービスを展開しております。

LMS市場の成長は著しく、その成長に対応するため特に「CAREERSHIP」のメジャーバージョンアップ開発への投資を積極的に行った結果一時的に収益性が低下しておりますが、メジャーバージョンアップ開発が来期で完了する目途が立ったことにより、収益性は徐々に改善する見込みであります。改善によって得られる収益は、今後の成長投資と株主還元に充当いたしますが、今後の成長投資はより多様化かつボーダーレス化するLMS市場を見据え、自社での対応だけでなく資本提携を含むM&Aでの対応が必要な状況であると認識しております。

この状況を踏まえ、今後の方針について取締役会にて議論がなされた結果、収益性を重視した経営戦略の立案と的確なM&Aを行っていくことが重要と判断し、以下の議案の決議を行いました。

2. 決議の内容

以下3議案の決議を行いました。

① 経営上の目標の達成状況を判断するための客観的な指標等に連結ROEを設定する

収益性を重視した経営戦略を行うべく、新たに連結ROEをKPIとして設定し、収益性と株主還元を適切に行ってまいります。

（変更前）

成長市場で事業を展開している当社グループは、経営指標として売上高、営業利益を重視しております。尚、当社グループの事業の特徴としてソフトウェアの減価償却が大きな影響を及ぼします。そのため経営指標としてEBITDAについても活用することで収益性を把握することとしております。

(変更後)

成長市場で事業を展開している当社グループは、経営指標として売上高、営業利益を重視しております。尚、当社グループの事業の特徴としてソフトウェアの減価償却が大きな影響を及ぼします。そのため経営指標としてEBITDA および連結ROEについても活用することで収益性および資本効率性を把握することとしております。

② 配当政策の基本方針の変更

成長戦略の一環であるM&Aは厳選して行っていくため、必ずしも毎期発生するものではありません。そのため、M&Aを行わない場合は、内部留保が積みあがることが想定されます。上記①で掲げたとおり、収益性および資本効率性の観点、そして株主還元の観点から内部留保の有効活用を目的とし、積極的な株主還元を行うべく、配当政策を変更します。これまでは連結配当性向を30%程度に設定してきましたが、これを100%とします。尚、当該変更は2026年1月期までとし、その後の継続については再度検討いたします。

(変更前)

当社グループは、株主への利益還元を経営の重要課題であると認識しております。利益配分につきましては、事業の更なる成長のため、経営基盤の強化のために内部留保を確保しつつ、安定的な配当の継続を実施していくことを基本方針としております。

(変更後)

当社グループは、株主への利益還元を経営の重要課題であると認識しております。利益配分につきましては、事業の更なる成長のため、資本提携を含めたM&Aを行ってまいりますが、当該事象が発生しない場合には連結配当性向100%を目標と定め、積極的な配当を実施していくことを基本方針としております。尚、当該方針は2026年1月期までとし、その後の継続については再度検討いたします。

③ 期末配当予想の修正（増配）ならびに剰余金の配当（中間配当）

前項のとおり連結配当性向100%を目標と定めたことに伴い、2024年1月期の配当予想を1株32円に修正いたします。また、今期の通期業績の見通し、および2023年5月25日に公表いたしました特別利益の計上などを総合的に勘案し、株主の皆さまの日頃のご支援に應えるため、中間配当金1株8円（普通配当8円、特別配当0円）を実施いたします。

(剰余金の配当（中間配当・増配）)

| | 決定額 | 直近の配当予想 (2023年3月17日) | 前期実績 (2023年1月期) |
|----------|------------|-------------------------|--------------------|
| 基準日 | 2023年7月31日 | 同左 | 2022年7月31日 |
| 1株当たり配当金 | 8円00銭 | 0円00銭 | 5円00銭 |
| 配当金総額 | 39百万円 | — | 24百万円 |
| 効力発生日 | 2023年10月2日 | — | 2022年10月3日 |
| 配当原資 | 利益剰余金 | — | 利益剰余金 |

(注) 2023年2月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、2023年1月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり配当金」を記載しております。

(配当予想の修正)

| | 1株当たり配当金 | | |
|----------------------|----------|--------|--------|
| | 第2四半期末 | 期末 | 合計 |
| 前回予想 (2023年3月17日) | 0円00銭 | 10円00銭 | 10円00銭 |
| 今回修正予想 | — | 24円00銭 | 32円00銭 |
| 当期実績 | 8円00銭 | — | — |
| 前期実績 (2023年1月期) | 5円00銭 | 9円00銭 | 14円00銭 |

(注) 2023年2月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、2023年1月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり配当金」を記載しております。

以上